

コ	成長発達歯科矯正学 (Craniofacial Growth and Development-Orthodontics)		
年	第3学年・後期・1単位	科目担当責任者	佐藤 貞雄 (成長発達歯科学講座 歯科矯正学分野・教授)
期		メールアドレス	
単	毎週木曜日16:30~18:00 (成長発達歯科学講座教室)		
位			
オフィスアワー			
一般目標 (GIO)	哺乳動物のヒトに位置づけられる人間は、その進化の過程で特異に変化を遂げた動物である。その特徴は全身骨格の直立と脳の発達にある。それゆえヒトの生後発育は形態医学的にも心身生理医学的にも社会文化的環境に大きく影響される。特に原始動物の鰓腸に由来する顎顔面、口腔系の発育は成人以降の健康の維持にとって極めて重要である。そこで、成人に至るまでの成長発育期の口腔を健全に育成する総合的歯科医療としての成長発達歯科医学の知識と技術を身につけるために、正常な小児の成長発育を理解し、そこで起こる病気および成長の偏位などの種々の異常に対する処置や予防法について理解する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 成長発達歯科矯正学概論	小児期から成人に至るまでの成長期歯科医療の意義について理解する。
2. 歯科矯正治療の目的	矯正治療の目的を認識する。
3. 顎顔面頭蓋の発育	顎顔面頭蓋の構成と構造を理解し、成長発育期の変化を習得する。
4. 歯列および咬合の発育と異常	顎顔面頭蓋、歯および歯列の特徴を理解し、成長発育に伴う変化と病因や病態を習得する。
5. 不正咬合と顎関節	顎関節の構造と機能を理解し、顎関節疾患と不正咬合との関連性について理解する。
6. 咬合および不正咬合	正常咬合および不正咬合と不正咬合によって生じる障害を理解し、不正咬合の原因と診察、検査、診断および治療法について習得する。
7. 不正咬合の矯正治療	異なる不正咬合の検査、診断および治療法について習得する。
8. 不正咬合の総合診断	診査および資料の分析結果から不正咬合を総合的に評価し、治療目標および治療計画の立案法について習得する。
9. 矯正治療と抜歯	矯正治療における抜歯の意義を理解しその適用について判断する。
10. 矯正装置	矯正装置の種類と作用について理解する。
11. 乳歯列、混合歯列期の矯正治療	乳歯咬合期および混合歯咬合期における矯正治療について理解する。
12. 永久歯列期の矯正治療	永久歯咬合期における治療について理解する。
13. ふり返り総合学習	講義ユニットを理解する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A 第4版歯科矯正学	葛西一貴 他著	医歯薬出版

評価法 (EV)
中間試験 (35%)、後期本試験 (65%) とによる総合評価。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/1	成長発達歯科 矯正学概論	矯正治療の目的と意義を説明できる。	A P3~14。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-①
2	9/8	歯科矯正治療の目的	1. 咬合の定義について説明できる。 2. 咬合の解剖学を理解し説明できる。 3. 顎関節の構造と機能を説明できる。 4. 不正咬合による口腔機能障害について説明できる。 5. 咬合と顎位について理解し説明できる。 6. 咬合と顎運動について理解し説明できる。 7. 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 8. 正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。	A P9~14。 資料配布、スライド、板書により解説する。 A P8~12。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-② 各Ⅲ-(Ⅲ)-1-A~E 各Ⅲ-(Ⅲ)-4-A~C 各Ⅲ-(Ⅲ)-5-A~H F-4-1)-③ 各Ⅲ-(Ⅲ)-3-A
3	9/15	顎顔面頭蓋の発育	1. 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 2. 脳頭蓋および顔面頭蓋の発育について理解し説明できる。 3. 上顎骨、下顎骨の発育について理解し説明できる。	A P15~32。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-2-3)-⑤ 必6-B- b
4	9/22	異常歯列および咬合の発育と	混合歯列期の歯列および咬合の発育と異常について理解し説明できる。	A P41~56。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-2-3)-⑤ 総Ⅰ-(Ⅱ)-3-B
5	9/29	永久歯列期の歯列および咬合の発育と	永久歯列期の歯列および咬合の発育と異常について理解し説明できる。	A P41~56。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-2-3)-⑤ 総Ⅰ-(Ⅱ)-3-B
6	10/6	顎関節不正咬合と	1. 顎関節の構造と機能を説明できる。 2. 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。	A P59~65。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-③ 各Ⅲ-(Ⅲ)-5-H 各Ⅲ-(Ⅳ)-1-A
7	10/13	咬合および不正咬合	1. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 2. 不正咬合の遺伝的原因について説明できる。 3. 不正咬合の環境的原因について説明できる。 4. 不正咬合の診査について説明できる。 5. 不正咬合の形態的、機能的検査項目を列挙でき説明できる。	A P59~81。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1) 各Ⅰ-(Ⅰ)-9- B
8	10/20	矯正治療不正咬合の	不正咬合の種類、骨格形態の特徴を説明できる。	A P85~94。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-⑦~⑨ 各Ⅲ-(Ⅲ)-14-A~C
9	10/27	総合診断不正咬合の	1. 診査および資料の分析結果より総合評価ができる。 2. 診断に必要な一般的診査が列挙できる。 3. 治療目標の設定および治療計画の立案ができる。 4. 予後の推定ができる。	A P121~155。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-④ 各Ⅲ-(Ⅲ)-4-A~C
10	11/10	拔牙矯正治療と	1. 歯科矯正治療における拔牙の意義を説明できる。 2. 歯科矯正治療における拔牙の部位と数について理解し説明できる。 3. 歯科矯正治療における連続抜去法について理解し説明できる。	A P157~164。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-④ 各Ⅲ-(Ⅲ)-8-A~C
11	11/17	矯正装置	1. 顎外固定装置について理解し説明できる。 2. 床矯正装置について理解し説明できる。 3. 拡大装置について理解し説明できる。 4. 機能的装置について理解し説明できる。	A P193~243。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅲ)-12-A, B
12	11/24	矯正装置	1. マルチブラケット装置について理解し説明できる。 2. 矯正治療によって生じる医原性障害を挙げ、その処置と予防法を説明できる。	A P215~225。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-⑥ 各Ⅲ-(Ⅲ)-12-A, B
13	12/1	乳歯列、混合歯列期の矯正治療	1. 混合歯列咬合期における治療について理解し説明できる。 2. 唇舌側弧線装置について理解し説明できる。 3. 上顎前方牽引装置について理解し説明できる。	A P247~265。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-④ 各Ⅲ-(Ⅲ)-13-A~Q
14	12/8	永久歯列期の矯正治療	永久歯列咬合期における治療について理解し説明できる。	A P267~298。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-④ 各Ⅲ-(Ⅲ)-14-A~C
15	12/15	ふり返り総合学習	成長発達歯科矯正学の講義ユニットを総合的に理解し説明できる。	A P215~225。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	